



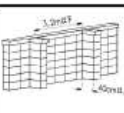

発災年：2018年6月18日  
 災害名称：大阪府北部地震  
 支援内容：調査、技術資料提供

### 5 ブロック塀簡易チェックリスト

[表の見方]

- ・上段から項目ごとにチェックして、該当する矢印に従い次の項目に進んでください。
- ・進み方は、→ か →→ がある場合、次項目の条件に合う方向に進んでください。

チェックリスト №8 ブロック塀簡易チェックリスト

外観調査		・塀が傾いたり、ぐらついたり、ひび割れていませんか？ ・鉄筋が錆びていませんか？（築後20年程度が目安です。鉄筋の入っているところに沿ってブロックが茶色ににじんでいたり、はじけていたら、中の鉄筋が錆びています）	していない 問題あり X
高さの調査		・地盤に差があるところは、低い方の地盤で計測してください。 ・側溝に沿ったところは、側溝の底から計測してください。（目安＝ブロック1段は20cm）	1.2m以下 1.2～1.6m 1.6～2.0m 2.0～2.2m 2.2m超 no 問題あり X
控え壁調査		なし (適用除外) 且つ、控え壁の長さが40cm以上	3.2m以内存にある(目安＝ブロック1段) 隣接する控え壁が3.2m以上離れている 又は、控え壁の長さが40cm未満 no 問題あり X
壁厚さ調査			12cm未満 12cm以上 15cm未満 15cm以上 問題あり X 問題あり X no no
鉄筋の調査		・配筋……………横筋は壁頂+基礎に、縦筋は壁の端部+隅角部に設置 ・壁内(=控えも同様)の配筋……………径9mm以上の鉄筋を縦横80cm以下の間隔で配置 ・その他……………端部は「カギ状」に折り曲げ	yes yes no 問題あり X
基礎の調査		なし 高さ1.2m以下の塀は (適用除外)	高さは、35cm以上& 根入れは、30cm以上 yes no 問題あり X
判定			◎

その他の留意点

- ・地耐力は安全か？
- ・増し積み構造になっていないか？
- ・土圧を受ける構造になっていないか？
- ・擁壁等の上部に設置していないか？



市営住宅の柱の破損現場

研究者・弁護士・建築士・技術士・税理士・  
 不動産鑑定士・土地家屋調査士・社会保険労務士・  
 司法書士・行政書士による  
**常備の書**

近畿災害対策まちづくり支援機構（編）  
 研究者と専門実務家（弁護士、建築士、  
 技術士、税理士、不動産鑑定士、土地家  
 屋調査士、社会保険労務士、司法書士、  
 行政書士）が、研究と実践経験に基づい  
 て執筆。理論と実務を兼ね備えた13本の  
 論考と全116項目のQ&Aを収録。